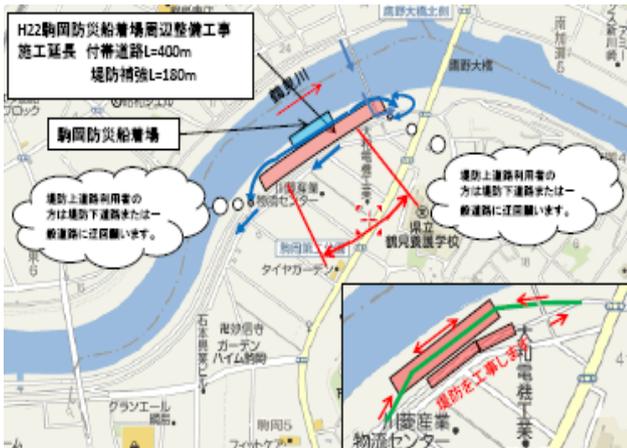


新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所
新横浜出張所発行
電話 045-476-5003
2011年02月10日【第11号】

駒岡船着場周辺の道路整備と堤防補強工事を行っています



昨年11月に工事を始めた横浜市鶴見区駒岡5丁目地先の堤防補強工事施工箇所の下流側で、今年の1月初めから工事が始まりました。

これは、昨年3月に完成した『駒岡防災船着場』に、一般道から災害時における物資等の緊急輸送道路として、河川敷を通して進入するための道路の一部を造っています。道路は、船着場周辺が幅4m、堤防脇の河川敷には幅6mの道路を造っています。施工延長は、約400mです。また、併せて堤防補強のための工事も行っています。施工延長は、約180mです。

この工事により、大曲広場の利用を中止して頂いております。また、堤防上の道路などを通行止め(左図の緑色で着色した線が迂回路)としますので、近隣の看板等をご覧下さい。沿川の皆さんへ ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

鶴見川遊水地脇で首都高横浜環状北線の工事が行われています

鶴見川脇の都筑区川向町、港北区新羽町で道路工事が行われています。この工事は、第三京浜道路と首都高横羽線とを結ぶ『横浜環状北線』の新設工事です。

現在、鶴見川遊水地に大きな建物(写真)を建ててありますが、周辺環境を配慮し、新羽町のトンネル入口から掘った土をベルトコンベアで運び、この建物でダンプトラックに積み込み運び出しています。下図は、横浜環状北線の路線図です。

この建物の中で、ベルトコンベアで送られてきた土砂をダンプに積み込みます



横浜環状北線路線図



鶴見川流域センター昨年4月からの来館者数が2万人を突破しました



鶴見川流域センターは、水害や地震などの防災拠点として整備され、平成15年9月にオープンしました。毎年、来館者が増えていましたが、ここ数年間は15,000人程度となっていました。ところが今年度は、11月に昨年の実績を超え、1月下旬に2万人の来館者を迎えました。

1月30日に、来館者2万人突破した記念に、当日の団体来館者の代表に賞状と記念品を手渡しました。そして当日、野鳥観察会に参加した皆さんと記念写真を撮りました。

流域センターの副センター長から野鳥観察会に参加していた方の代表に賞状を手渡しました。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081
電話 045-475-1998
(鶴見川流域センター直通)

新横浜出張所管内の主な工事箇所を紹介します(地先名のみです)

2月～3月の工事状況(この新聞掲載分を除く)

工事箇所	工事内容
1 横浜市港北区日吉3丁目	河川内の掘削工事
2 横浜市港北区綱島西2丁目	階段設置工事
3 横浜市港北区綱島西2丁目	河川内への木杭打設工事
4 横浜市港北区綱島西2丁目	防護柵設置工事
5 横浜市港北区新羽町	河川内の掘削、木杭打設
6 横浜市港北区大倉山5丁目	護岸補修工事
7 川崎市幸区南加瀬4丁目	護岸補修工事
8 鶴見川遊水地	公園整備工事
9 鶴見川遊水地	土の掘削運搬工事
10 早淵川 新川橋	橋梁の塗装工事
11 早淵川 三步野橋	橋梁の塗装工事

★ 8・10・11 は、横浜市発注工事です。
その他の工事は、国土交通省発注工事です。

河川内の工事は、一般的に梅雨や台風の時期を避けて行います。当出張所管内では、左表の箇所です。国土交通省京浜河川事務所や公園管理者、道路管理者など発注している工事が行われています。

マラソン大会などで河川を利用される方は、連絡をお願いします。河川利用者にご不便をおかけしていますが、よろしくをお願いします。

鶴見川流域総合治水30周年記念イベントがあります

かつて、甚大な旧治水被害を蒙った鶴見川流域では、流域が一致して治水に取り組む「総合治水対策」が全国に先駆けて実施され、本年度で30年を迎えました。この間、流域の整備にむけて、市民団体・企業・行政の連携も進み、私たちは、大きな旧治水被害なく過ごしてまいりました。しかし、国内外で大雨災害が頻発し、地球温暖化による急激な気候変動も懸念される今日、新たな治水の脅威に私たちはどのように対応してゆくのか、改めて流域として考え、ゆくべき時代が到来しています。

そこでこのたびは、総合治水対策30年の節目にあたり、過去の水災に学び、流域安全の未来を考える機会として、以下のシンポジウムを開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

平成15年9月に完成した鶴見川多目的治水堤

入場無料

「鶴見川流域総合治水対策30周年記念シンポジウム」

日時：平成23年2月12日(日) 12時00分～16時00分
場所：慶應義塾大学・日吉生協館大ホール(当日会場へ参加)

12:00 開場
＜総合治水対策30周年記念＞
これまでの河川対策、下水道対策、流域対策について
各関係機関によるパネル展示・説明など

13:00～第1部
＜開会＞
～過去の洪水との闘いの歴史、流域の助け合いの歴史を振り返る～
「助け合う家族」
水害体験者、水防訓練経験者からの体験談

15:00～第2部
＜閉会＞
～変化を察する眼力、地球温暖化に対して、流域力を再結集する時～
「流域市民が助け合い、安心して暮らせる未来」
経済市長、鶴見川流域水防協会代表事務局長、国土交通省京浜河川事務所長

16:30 閉会

主催：鶴見川流域水防協会(東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・町田市・稲城市・国土交通省関東地方整備局)
後援：横浜市鶴見区、横浜市港北区、川崎市幸区、横浜川新聞社、神奈川新聞社(予定)

問合せ先：鶴見川流域水防協会代表事務局
(国土交通省京浜河川事務所流域調整課) 電話 045-503-4009

慶應義塾大学日吉生協館大ホールで開催予定

あ と が き

今月号では、鶴見川で施工されている工事の紹介を行いました。

また、鶴見川では、洪水被害を防ぐために流域が一致して取り組む総合治水対策に着手してから本年度でちょうど30年を迎えました。

これを記念して、2月20日(日)に慶應義塾大学で記念シンポジウムを開催します。

入場無料ですので、お気軽にお越し下さい。皆様のご来場をお待ちしています。(右側にチラシ掲載)詳しくは、京浜河川事務所のホームページをご覧ください。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

平成23年2月20日(日)12時から